

観点 1	基礎・基本の定着
観点 2	主体的に学習に取り組む工夫
観点 3	内容の構成・配列・分量
観点 4	内容の表現・表記
観点 5	言語活動の充実

第 1 推薦	61 啓林館
第 2 推薦	11 学校図書

小学校 理科 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる 観点	主 たる 特 徴
2・東書	観点 1	・単元末に「たしかめよう」を設け、学習の定着を図る工夫がなされている。
	観点 2	・「さあ理科の世界にとび出そう！」で、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程に沿ってわかりやすく構成している。 ・課題発見を促す「思い出そう」のコーナーがある。
	観点 3	・全学年のページ数 716 ページ、補充的な学習 49 ページ、発展的な学習 17 ページ。
	観点 4	・キャラクターを用いて、問題解決や学習のヒント等について示している。 ・写真だけでなくイラストを効果的に使い、何をどうすればいいのか示している。
	観点 5	・巻末にノートや話し合いの指導ページがある。 ・単元内にノートや記録カードの例がある。
4・大日本	観点 1	・単元末の「たしかめよう」や「学んだことを生かそう」で、学習の定着を図るとともに日常生活と関係づけていく工夫がなされている。
	観点 2	・調べる条件、同じにする条件を区分して条件制御の視点を示している。 ・器具の使い方が、実験・観察の場面に合わせて、示されている。
	観点 3	・全学年のページ数 672 ページ、補充的な学習 40 ページ、発展的な学習 41 ページ。
	観点 4	・自分の考えを持たせる場面では、イラストと吹き出しが効果的に用いられている。
	観点 5	・単元内にノートや記録カードの例がある。
11・学図	観点 1	・単元末「ふりかえってみよう」や「活用しよう」が設けられ、学習の定着を図り、学習内容を発展的に理解させる工夫がなされている。
	観点 2	・「科学の芽を育てよう」で、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程に沿って学びの流れをわかりやすく明示した構成がなされている。 ・課題発見を促す「思い出してみよう」のコーナーがある。
	観点 3	・全学年のページ数 704 ページ、補充的な学習 39 ページ、発展的な学習 26 ページ。
	観点 4	・巻頭では、自然の事象をうたった「詩」を、巻末では、科学者の紹介をしている。 ・巻末では、共通のものさしがついているのでみんなが同じものさしを使って測定することができる。
	観点 5	・巻末にノートや話し合いの指導ページがある。 ・単元内にノートや記録カードの例がある。

17・教出	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「確かめ」で、単元で学んだ言葉を使って説明させることで、学習の定着を図る工夫がなされている。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の順序」で、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程に沿ってわかりやすく構成している。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年のページ数790ページ、補充的な学習47ページ、発展的な学習27ページ。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭では、達人のメッセージを掲載し自然に対する感性を育む扱いをしている。 ・資料の写真では、アングルやアップとルーズを使い補助の役目が効果的である。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・3年、4年は第4単元、5年は第2単元、6年は第1単元の中に、それぞれノートの指導欄がある。 ・単元内にノートや記録カードの例がある。
26・信教	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「まとめてみよう」を設け、科学的用語を使うとともに、図、グラフ、表などを用いて単元で学習した内容がまとめられている。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程に沿ったノートの記述例を示すとともに、調べる条件、そろえる条件を区分して条件制御の視点を示している。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年のページ数674ページ、補充的な学習2ページ、発展的な学習23ページ。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の巻頭の見開きに1年間の学習を掲載し、学習への興味や期待感、見通しを持たせるための資料を示している。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末に「説明してみましよう」のキーワードを示して、既習事項をもとに、自分の考えを説明させる場面を設けている。
61・啓林館	観点1	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「まとめよう」では絵や写真を使用してのまとめ方が例示され、「たしかめよう」や「力だめし」で、学習の定着を図るとともに活用する力を育てる工夫がなされている。また、別冊「わくわく理科プラス」により、基礎的・基本的な学習事項の習得を図ることができるよう工夫されている。
	観点2	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習の進め方」で、学習の進め方を示し、どの単元も問題解決の過程に沿ってわかりやすく構成している。さらに、別冊「わくわく理科プラス」との関連を持たせ、既習の学習や経験から新たな学習を始めさせるようにしている。
	観点3	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年のページ数752ページ（別冊188ページ）、補充的な学習37ページ（別冊55ページ）、発展的な学習47ページ（別冊4ページ）。
	観点4	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のめあてを設定し、別冊と併せて、学習のはじめの段階での考えを持たせるように設定している。 ・理科で保護者に学ぶテーマが示されている。
	観点5	<ul style="list-style-type: none"> ・第1単元の中にノートの指導欄がある。 ・単元内にノートや記録カードの例がある。 ・全単元末の「まとめよう」のページに、まとめのノート例を示している。 ・別冊「わくわく理科プラス」で、単元初めと終わりに自分の考えを書く活動を促している。また、中学校の教科書でも別冊がついて同じようになっている。